

大学ポートレートの目的

大学ポートレート
ウェブサイト
https://portraits.niad.ac.jp/



国公立版 私学版

■ 大学ポートレートとは

大学ポートレートは文部科学省「大学における教育情報の活用支援と公表の促進に関する協力者会議」からの提言（2011年8月）を受け、データベースを用いた大学の教育情報の活用・公表のための共通的な仕組みとして構築され、2015年3月より国公立大学全体の教育情報を公表しています。

大学ポートレートウェブサイトでは、日本全国にある1,000以上の国公立の大学・短期大学の情報を各大学が直接掲載し、大学・短期大学の個性・特色やどのような教育が行われているのかを全大学共通の枠組みで社会に公表しています。

大学ポートレートの運営は、大学改革支援・学位授与機構に設置された「大学ポートレート・大学情報基盤センター」が、日本私立学校振興・共済事業団と連携・協力しながら行っています。

■ 大学ポートレートの目的

大学の多様な教育活動の状況を、国内外の様々な方にわかりやすく**発信**することにより、大学のアカウンタビリティの強化、進学希望者の適切な進路選択支援、我が国の高等教育機関の国際的信頼性の向上を図る。

大学が自らの活動状況を把握・分析するために教育情報を**活用**することにより、エビデンスに基づく学内のPDCAサイクルの強化による大学教育の質的転換の加速、外部評価による質保証システムの強化を図る。

基礎的な情報について共通的な公表の仕組みを構築し、各種調査等への対応に係る大学の**負担を軽減**することにより、大学運営の効率性の向上を図る。

活動概要

教育情報の《発信》

■ 大学ポートレート国内版

① スマートフォン画面表示等の改修

アクセス分析によると、1回の訪問で閲覧されるページ数が少なく、また、スマートフォンからのアクセスが中心（全体の6割以上）であることから、まずはスマートフォン版サイトでのページの一覧性とサイト内の回遊率の向上を目的として、画面表示の改善を行いました。

この変更はスマートフォン版のみで、2025年度の公表作業を実施した大学のページに反映されています。

主な改善点

- ・公表項目の内容を折りたたみ、「+」で表示させる仕様に変更
→ 視認性を高め、求める情報を得やすくすることで、利用継続につながることを期待
- ・ページ上部にあるメニューをページ下部にも再掲
→ 同じ学部・研究科の他の情報の閲覧を促す
- ・トップページの検索項目のうち「課程区分」を折りたたむ仕様に変更
→ 一覧性を上げ、学科・専攻名や所在地での検索に進みやすくする



改修後

改修前

その他、以下の改修を実施しました。

- ・ 教学マネジメント指針に対応する項目を追加（2025年度の公表作業から反映）
- ・ SEO対策（検索結果に表示されやすくする工夫）とクリック率の向上を目的として、各ページのソースに description（検索結果に表示されるページの説明文）を追加
- ・ 軽微な改善、不具合対応等

② 学校教育法施行規則改正への対応予定

大学ポートレート運営会議（第22回）（p.4参照）での決定を受け、2025年4月1日に施行された学校教育法施行規則第172条の2の改正について、対応する公表項目を大学ポートレートへ追加する改修を現在行っています。当該項目は2026年度の公表作業から入力が可能となる予定です。

■ 大学ポートレート国際発信版

教育情報調査票の改善等の軽微な改修を実施しました。また、大学一覧（List of Institutions）ページについて、現状では設置者別・アルファベット順で大学名を掲載していますが、閲覧者の利便性を鑑み、地域別・設置者別・アルファベット順での表示となるよう改修を進めています。

■ Web-API

Web-API機能では、各参加大学より収集し公表している大学基本情報のデータをJSON形式で提供しており、申請をいただければどなたでもご利用になれます。

提供しているデータについては、大学ポートレート国公立版参加大学の2021～2024年度に加え、2025年12月に2025年度を提供対象に追加しました。今後も順次データを拡充していく予定です。

大学ポートレート Web-API機能ウェブサイト
<https://api-portal.portraits.niad.ac.jp>



教育情報の《活用》

■ 大学基本情報分析レポート

大学ポートレート・大学情報基盤センターでは、大学教育情報の活用推進のため、「国公立大学情報活用サイト」にて大学ポートレート国公立版参加大学へ分析レポートを提供しています。

「大学基本情報分析レポート」は、大学基本情報を用いて作成しているPower BI版とTableau版があり、毎年度データを更新しています。併せて、随時改善を実施しており、2025年8月には公立短期大学のデータ追加、2025年12月にはBIツールにすぐに取り込める整形済みデータ（XLSX/Parquet）の掲載を行いました。



大学基本情報分析レポート サンプル

■ 公立大学実態調査分析レポート

2019年に締結された公立大学協会と大学改革支援・学位授与機構の覚書に基づき、公立大学協会が実施している公立大学実態調査のデータを使用した「公立大学実態調査分析レポート」を、2023年より参加公立大学に提供しており、毎年度データを更新しています。

公立大学実態調査には、大学基本情報よりも詳細なデータが含まれており、各公立大学の状況をより詳しく確認することができます。



公立大学実態調査分析レポート サンプル

■ 説明会等の実施

大学基本情報分析レポートと公立大学実態調査分析レポートの説明会を、2025年度より、主に新たに評価やIRの担当となった教職員を対象とし、実施時期を6月に変更しました。大学基本情報分析レポート説明会では75校、公立大学実態調査分析レポート説明会では23校にご参加いただき、以下の内容を説明しました。

説明会のポイント

- ・分析レポートの概要
- ・基本構成と操作方法

また、大学基本情報分析レポートをさらに活用いただくため、「大学情報分析セミナー」を新たに企画し、2025年3月に2回、12月に1回開催しました。講義編と実習・演習編の2部構成とし、講義編は対面とオンラインのハイブリッド形式、実習・演習編は対面形式で実施しました。2025年3月に実施した際の様子は、機構ウェブサイトでご確認いただけます。

NIAD-QE トピックス

令和6年度大学情報分析セミナー

<https://www.niad.ac.jp/about/topics/entry-5628.html>



令和6年度大学情報分析セミナー 当日の様子

大学の《負担軽減》

■ 報道機関等へのデータ提供

大学ポートレートと大学基本情報で公表しているデータのうち、数値情報等の著作権が発生しないものについては各種調査等へ利用することができ、その調査結果等を公表・活用することも可能となっています。

大学ポートレートや大学基本情報を報道や統計、研究等の基礎データとして利用いただくことによって、各大学への個別の問合せや調査が減り、大学の負担が軽減されることを目指し、当センターでは報道機関等への周知を行っています。2025年3月には、大学ポートレート及び大学基本情報ウェブサイトの利用促進を目的とし、新聞社57社（全国紙、地方紙、通信社の一部支社を含む153か所）に対して案内チラシを送付しました。

当センターは今後も報道機関等への働きかけを継続してまいります。

報道機関等による利用実績

2025年3月8日 TBSテレビ 情報7days ニュースキャスター
「恐竜学部 新設なぜ？生き残りをかける大学」

2025年7月29日 大学パワーランキング
「【2025年度最新版】留学生比率で見る日本の大学ランキング」

2025年11月3日 大学ジャーナル ONLINE
「香川県が県立大学の開設・拡充を検討 高校生等へのアンケート結果を公表」

2025年11月12日 アガルートメディカル
「40代からの医学部再受験で合格は可能？医者を目指すには遅い？難しい点やポイントを解説」

(通年) 河合塾ウェブサイト
河合塾の難関大学受験対策 > ○○大学を目指す > 大学を知る

「大学ポートレート(国立版)」、「大学基本情報」のご案内

大学・短期大学の情報収集に
大学ポートレート をぜひご利用ください！

「大学ポートレート(国立版)」は、
 ◎ 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構に委ねられた大学ポートレートセンターが運営するウェブサイトです。
 ◎ 国立大学・公立大学・公立短期大学・株式会社立大学の合計180校以上が参加しています。
 ◎ 各大学・短期大学が自ら入力した情報を公表しています。
 ◎ 数値情報だけでなく、大学の特色や取組などは各大学が文章で記述しています。
 ◎ 人数等は5月1日現在の情報です。その他、一律の定義に基づく情報を掲載しています。

公表項目(一部抜粋)

- 大学ごとの情報
 - 基本情報 本部所在地/設立年/大学の連結先/大学の種別/総学生数/総教員数 等
 - 特色等 大学の特色等

新聞社向け案内チラシ

「大学ポートレート(国立版)」、「大学基本情報」のご案内

大学・短期大学の各種情報の集計・分析に
大学基本情報 をぜひご利用ください！

「大学基本情報」は、
 ◎ 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構が運営するウェブサイトです。
 ◎ 国立大学・公立短期大学から提供された基礎的な情報について、学校名がわかる状態で取りまとめたデータを掲載しています。
 ◎ 2012(平成24)年度以降のデータを蓄積・公表しています。
 ◎ データはExcelファイルでダウンロード可能。集計や分析にご利用いただけます。
 ◎ 人数等は5月1日現在の情報です。その他、一律の定義に基づく情報を掲載しています。

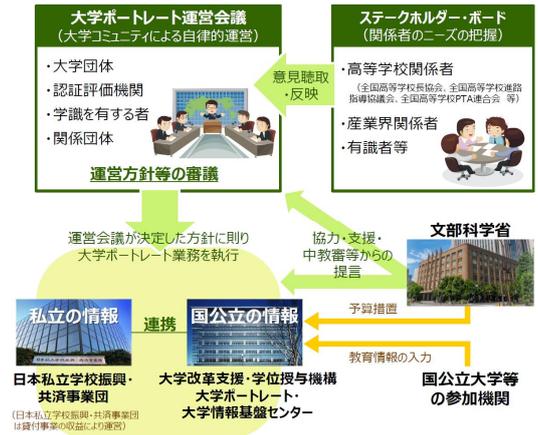
公表項目

- 学生数(経年・課程・男女別)
- 教員数(本邦・海外・職位・男女別・外国人)
- 職員数(所属組織・職位・男女別)

大学ポートレート運営会議及びステークホルダー・ボード

大学ポートレートの運営方針は、設置形態ごとの大学団体、認証評価機関、日本私立学校振興・共済事業団等の関係事業を行う団体により推薦された者及び有識者からなる「大学ポートレート運営会議（以下、運営会議）」が決定しています。

さらに、関係者のニーズを把握するため、高等学校関係者、産業界関係者、有識者等からなる「大学ポートレートステークホルダー・ボード（以下、ステークホルダー・ボード）」を設置し、広く社会一般からの意見を運営会議に伝えています。



大学ポートレート運営会議 委員一覧 (2025年9月現在)

浅井 清文	公立大学法人名古屋市立大学副理事長・学長
喜納 育江	琉球大学長
近藤 倫明	一般財団法人大学教育質保証・評価センター代表理事
沢 良子	公益財団法人日本高等教育評価機構副理事長
志賀 啓一	学校法人志学館学園理事長
西原 廉太	立教大学総長
◎ 日比谷 潤子	国際基督教大学名誉教授
光石 衛	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事
○ 水戸 英則	学校法人二松学舎理事長
村崎 文彦	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部理事長
矢口 悦子	東洋大学長
柳沢 幸治	大月短期大学長
吉田 秀樹	日本私立学校振興・共済事業団理事

◎：議長、○：副議長（50音順、敬称略）

大学ポートレートステークホルダー・ボード 委員一覧 (2025年12月現在)

岡本 真治	JCR ファーマ株式会社人事企画部部長
○ 小林 浩	株式会社リクルート リクルート進学総研 所長、カレッジマネジメント編集長
近藤 治	学校法人河合塾教育研究開発本部主席研究員
◎ 杉谷 祐美子	青山学院大学教育人間科学部教授
鳥居 朋子	早稲田大学大学総合研究センター副所長
中村 慎也	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会副会長
林 達也	東京都高等学校進路指導協議会副会長、東京都立八王子拓真高等学校長
渡邊 範道	全国高等学校長協会大学入試対策委員会委員長、東京都立上野高等学校統括校長

◎：主査、○：主査代理（50音順、敬称略）

大学ポートレート運営会議（ステークホルダー・ボード）を含む最新の委員一覧、過去の資料等）

<https://portraits.niad.ac.jp/about/meeting.html>



2025年3月5日 大学ポートレート運営会議（第22回）

主な議題 学校教育法施行規則改正への対応について

2025年4月1日に施行される「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）（令和6年9月30日付け6文科高第1004号）」の主な改正内容について、文部科学省の嶮口大学教育・入試課法規係長ほかご担当者より説明がありました。

その後、当該改正に対応するための大学ポートレート全体の基本方針（案）及び国公立版の公表項目（案）について審議が行われ、案のとおり承認されました。

<説明内容>

- ・今回の改正は、「入学者の選抜に関すること」、「外国人留学生の数に関すること」、「大学院の標準修業年限以内に修了した者の占める割合その他学位授与の状況に関すること」の3点を新たに公表事項として義務付けたものである。
- ・通知文書では、3点それぞれについて公表が想定される（各大学が原則として公表する）事項と公表が望ましい事項を挙げている。

2025年9月10日 大学ポートレート運営会議（第23回）

- 主な議題
- ① 学校教育法施行規則改正への対応について
 - ② 大学ポートレートにおける機能拡充・改修について

① 前回の運営会議（第22回）に続き、学校教育法施行規則改正への対応について、大学ポートレート私学版の対応案の審議が行われ、案のとおり承認されました。国立版・私学版ともに、当該改正の通知文において公表が求められている度合いに従い、必須項目または任意項目を追加することとなります。

大学ポートレート国立版では、この決定に基づきシステムの改修を進めており、2026年の公表作業で各大学へ変更点をご案内する予定です。

② お気に入り一覧表示機能の「入試」表示項目の変更、高校生向けページの掲載、大学・短期大学一覧の掲載、大学ポートレート共通検索画面への検索項目の追加について審議が行われました。

<委員より>

- ・このような方向で利便性の向上を進めていくべきだ。
- ・利用者にとって分かりやすいことが重要である。その観点で検討してほしい。

2025年12月9日 令和7年度ステークホルダー・ボード

- 主な議題
- 大学ポートレートに対する意見・評価について（有識者ヒアリング）

企業は採用活動において大学のどのような情報を求めているかなどについて、株式会社インディードリクルートパートナーズの栗田上席主任研究員より発表がありました。また、大学ポートレートで情報発信を積極的に行っている大学の取組や大学ポートレートに対して感じる課題について、九州工業大学及び金沢工業大学のご担当者より発表がありました。その後、それぞれの内容について意見交換が行われました。

議論の結果は、2026年2月に開催予定の運営会議（第24回）に、ステークホルダー・ボードからの意見として報告されます。

<有識者・委員より>

- ・偏差値等の一面的な指標ではなく、多様な尺度で自分に合った大学を比較検討できるようになれば、大学での学びと企業の求めるスキルが高い精度で合致することになり、そこで教育を受けた人材は活躍の可能性が高いという目で企業側も見る。
- ・国立大学情報活用サイトのような可視化ツールを一般向けに公開してはどうか。生成AIの利用が広がる中で、確かなデータを用いて受験生や関係者自らがツールを利用できる環境が健全ではないか。
- ・各大学の特色は定量的に測れないため、定性的な情報を閲覧者に理解いただけるようにどう掲載していくかも課題である。
- ・数値データ等の並べ替え機能や、「この分野を見た人は他のこれらの分野にも興味がある」といった推薦機能があると、利用のしやすさにつながるのではと思う。

各プロセスにおける「活用したい大学情報」		
<活用の目的>	<主な内容>	<現状>
採用ターゲットの選定・深掘り	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社のターゲット人材（要件×採用可能性）はどの大学・どの学部・どの学部に存在するのかわかるか？ <ul style="list-style-type: none"> ↳ 学部・学科×就職希望者数 ↳ 業種別・企業規模別・地域別等の就職状況 ↳ 大学・学部の特性や志向の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部・学科別の学生数のデータはあるが、その年度の採用対象となる学生数（※当該民間就職希望者数）などがわかりにくい ・上記に加え、比較・一貫性が非常に難しい
大学との関係構築戦略立案	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学（キャリアセンター）へのアプローチ戦略立案 <ul style="list-style-type: none"> ↳ 自社が連携できそうなキャリア系授業の有無 ↳ どのようなインターンシッププログラムを提案すれば連携してもらえるのか、またどういった協働実施を申し込みたいのか、またその窓口の有無 ↳ 協働研究などの可能性やその窓口の有無 など… → 大学や学部ごとのアプローチ方法検討のために活用 ● 大学訪問の際の大学理解・学部理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携する際の企業協力を求めているかどうか、その際の要件や交付窓口等の情報が探しにくい、または掲載されていない、一貫性の担保もされていない。 ・採用活動には関係のない情報も多いため、利用しづらい。

令和7年度ステークホルダー・ボード 資料4-1 抜粋

今後の大学ポートレートへの期待②

■ 各種調査に係る大学の更なる負担軽減

現在でも大学基本情報（<https://portal.niad.ac.jp/prtr/table.html>）としてデータの公表を行っているが、これを一歩進めて、国立大学情報活用サイト（大学情報分析レポート）のような可視化ツールを一般向けに公開することを検討してはどうか。

関連する大学ポートレートの目的

(3) 基礎的な情報について共通的な公表の仕組みを構築し、各種調査等への対応に係る大学の負担を軽減することにより、大学運営の効率性の向上を図る

■ 大学ポートレートへの入力負担の軽減

Excel様式のアップロードだけでなく、Web入力やCSV取り込みなど、入力方式の多様化をしてはどうか。

同 資料4-3 抜粋

	データ連携の自動化 API連携により学内システムとポートレートの入力作業を自動化し、作業負担を軽減します。
	情報共有BOXの整備 複数部署間の調整をスムーズにし、情報収集・加筆修正等の効率を向上させる。部署間での連携強化。
	専門人材の育成 データ分析に長けた人材を育成し、ポートレートの評価指標設定と品質向上を図る。データの意味と分析とポートレートの充実化
	DX化による進化 インタラクティブなダッシュボードにより、情報取得が容易になり、大学の魅力を効果的に発信します。学内での情報共有も促し、自身の大学の特色及び強みの理解向上を図る。（FD・SDに活用）

同 資料4-5 抜粋

広報活動

■ 高校関係者に向けて

大学ポートレートの認知度向上のため、高校関係者が集まる会議等での事業説明やチラシ配布のほか、SNS 等での広報活動を行っています。

2025 年は、「中等教育資料」や「教育委員会月報」といった高等学校関係者を主な対象とする冊子に新たに紹介記事を作成して寄稿したほか、2024 年に公開した「大学ポートレート（国公立版）の使い方」動画①に続く 2 件を作成し、6 月に公開しました（※1）。また、7 月には、試行的な取組として全国の高等学校（約 5,000 校）の進路指導主事の方宛てに、大学ポートレートを利用した授業例等の案内とチラシの直接送付を行いました（※2）。

当センターでは今後も大学ポートレートの認知度向上に努めてまいります。

高校関係者向け広報活動（2025 年）

1 月～3 月	記事の寄稿 2 件 文部科学省初等中等教育局メールマガジン、学事出版株式会社「中等教育資料」 広告掲載 1 件 Google リスティング広告(2024 年 12 月～)
4 月～6 月	チラシ・資料配布 4 件 全国高等学校長協会 第 77 回総会 等 記事の寄稿 1 件 文部科学省初等中等教育局「教育委員会月報」 動画公開 2 件 大学ポートレート（国公立版）の使い方②③
7 月～9 月	チラシ・資料配布 2 件 文部科学省 大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会 等
10 月～12 月	チラシ・資料配布 2 件 ライオン企画株式会社 大学進学セミナー（池袋会場）等 リンク掲載 2 件 JASSO ウェブサイト「STUDY in JAPAN」、岡山県「岡山県大学ガイド 2026」

■ 日本への留学希望者に向けて

大学ポートレート（国際発信版）の広報に使っているチラシを 2024 年 3 月にリニューアルし、画面や公表項目の例を追加しました（※3）。新しいチラシは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）に協力いただき、留学希望者向けに開催された各種イベントにて配布を行いました。

また、JASSO の留学希望者向けウェブサイト「STUDY in JAPAN」リンク集のページに大学ポートレート（国内版・国際発信版）へのリンクを掲載いただきました。

チラシ配布

- ・ JASSO 外国人学生のための進学説明会（6 月～7 月 東京・大阪）
- ・ JASSO 日本留学フェア（8 月～2026 年 1 月 5 国 8 都市）

リンク追加

- ・ JASSO ウェブサイト「STUDY in JAPAN」

■ Topics ■

「大学ポートレートへのアクセス数向上戦略」をセンター内部で策定（2025 年 8 月）

大学ポートレートの現状をもとに分析を行い、今後の広報の方向性を「大学ポートレートへのアクセス数向上戦略」として当センター内部で検討しました。

2025 年はこの「向上戦略」の中に位置付けて新たに行った取組が多く、今後はそれらの取組の効果を検証し、改善を図っていく予定です。



※1



※2



※3